※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０８

令和５年度　福祉科

教科	福祉	科目	社会福祉基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「社会福祉基礎」　（実教出版）						
副教材等	使用教材なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会福祉に関する基礎的、基本的な知識を学びます。主に児童・高齢・障がいの３分野について、基礎的な技能、知識を身につけ、社会福祉の意義について理解を深めます。実際に福祉の現場を見学するなど、実践的な学習、体験も行います。

２　学習の到達目標

【a:知識及び技能】
・社会福祉に関する基礎的な知識・技能を習得させ、をめざす。
【b:思考力、判断力、表現力等】
・授業を通して、自分の考えを表現し、福祉に関しての基礎的な「思考力」や「見方・考え方」を培う。
【c: 学びに向かう力、人間性等】
・人間としての尊厳や認識を深め社会福祉の向上を図る態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会福祉に関する基礎的な知識を身につける。 社会の一員として役割を考え、判断することができる。 実践授業において、介護等に関する技術を身につけることができる。 状況に応じた適切な介護等を行うことができる。	各単元ごとで学習したことを元に課題を見出し、思考を深め、適切に判断することができる。 社会福祉に関するあらゆる事象を多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりと、さまざまな課題を視野に入れながら自ら考えたことを発したことを議論する。	各分野において興味・関心を持ち、誰もが幸せに暮らせるようよりよい社会の実現を視野に受身ではなく主体的に課題を解決しようとしている

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	社会福祉の歴史と課題	・諸外国における社会福祉 ・日本における社会福祉	a:諸外国における社会福祉と日本における社会福祉の諸問題について理解する。 b: 諸外国における社会福祉と日本における社会福祉を対比し考察できる。 c: 諸外国における社会福祉と日本における社会福祉のさまざまな課題を認識し、意欲的に学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
2学期	生活を支える社会福祉・社会保障制度	・社会福祉・社会保障制度の意義と役割 ・障害者福祉	a:社会福祉の保障制度と障害者福祉の諸問題について理解する。 b: 社会福祉の保障制度と障害者福祉の置かれている状況について考察できる。 c: 社会福祉の保障制度と障害者福祉の諸問題について認識し意欲的に学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
3学期	生活を支える社会福祉・社会保障制度	・高齢者福祉	a:高齢者の諸問題について理解する。 b: 高齢者の置かれている状況について考察できる。 c: 高齢者の諸問題について認識し意欲的に学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度